

「文京九中 ここにあり」



平成28年度 第7号
平成28年11月4日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝
 ■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955
 ■ H P http://www.bunkyo-tyk.ed.jp/daikyuu-jh/

平成28年度版「九中 人権カレンダー」を近隣の学校・園に配布しました

本校では、生徒の「心を耕す」道徳教育を推進していますが、この一環として7月に作成した人権標語の代表作を集めて日めくりカレンダーを作成し、各教室等に飾って日々の学校生活の中で啓発を図ることになっています。また、この「九中 人権カレンダー」を近隣の小学校、幼稚園、保育園に配布し、広く活用していただいています。九中生成り出した心温まる人権標語が、それぞれの学校・園の好ましい雰囲気づくりに少しでも役立てばありがたいと感じています。

九中 人権カレンダー 平成二十八年度版 文京区立第九中学校 文京区立第九中学校 三年 女子	1 不安な気持ち 誰もがきつと抱えてる 一人じゃないと支え合おう 文京区立第九中学校 三年 女子	2 みんなの一言で 平和の「あかり」は 灯せます 文京区立第九中学校 二年 女子	3 目に見える 表情(きもち)だけが 全てじゃない 文京区立第九中学校 一年 女子	4 いじめをね やったところで 損しかない 文京区立第九中学校 三年 男子	5 これからも 君と笑って 生きていく 文京区立第九中学校 二年 女子	6 ひどりの優しさ みんなの笑顔が 未来をつくる 文京区立第九中学校 一年 男子	7 心に火 灯す言葉 「ありがとう」 文京区立第九中学校 三年 男子	8 優しさは 人を守る 最高の魔法 文京区立第九中学校 二年 男子	9 勇気をふりしぼった あなたの一言が みんなを幸せにする 文京区立第九中学校 一年 女子	10 この世界 一人一人が 主人公 文京区立第九中学校 三年 男子
	11 みんな持つてる違う色 並べてつくる虹色の世界 文京区立第九中学校 二年 女子	12 世界に一つの貴方の笑顔 それは世界の宝物 文京区立第九中学校 一年 女子	13 認め合おう あなたと私の 相異点 文京区立第九中学校 三年 女子	14 大切な 命だから 大事に楽しく 文京区立第九中学校 二年 男子	15 思いやり 創りあげよう 笑顔の輪 文京区立第九中学校 一年 男子	16 みんな持っている 個性という 素敵な違い 文京区立第九中学校 三年 男子	17 思うこと それぞれ違う 「人」だから 伝えることで 友の輪広がる 文京区立第九中学校 二年 女子	18 人はみな 助けがあるから ここにいる 大切なのは みんなの力 文京区立第九中学校 一年 女子	19 聞こえるよ 悲しい声 辛い時には 何度でも言っ てね 文京区立第九中学校 三年 女子	20 広げよう 笑顔・優しさ・思いやり 文京区立第九中学校 二年 女子
22 親の立場で考えてみよう いじめられてたらどうしよう いじめていたら... 文京区立第九中学校 三年 男子	23 つないでく 君と僕との 永遠の友情 文京区立第九中学校 二年 女子	24 ありがとう その一言で 笑顔咲く 文京区立第九中学校 一年 女子	25 なくしたい きみの苦しみ 守りたい きみの笑顔 文京区立第九中学校 三年 女子	26 その行動 その言葉 自分自身におきかえよう 文京区立第九中学校 二年 男子	27 だれよりも あなたを思う人がいる 文京区立第九中学校 一年 男子	28 「だいじょうぶ」「どうしたの」 きずついた心を救う魔法の言葉 文京区立第九中学校 三年 男子	29 助けあい みんな仲良く 笑顔あふれる 文京区立第九中学校 二年 男子	30 みんなで助け合おうと みんな明るくい気持ちになるね 文京区立第九中学校 一年 男子	31 支え合おう あなたの笑顔が 平和をつくる 文京区立第九中学校 一年 女子	

都教育委員会「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」

和泉元彌さんによる「狂言を学ぶ教室」を開催します

保護者の皆様には既にご案内のとおり、11月12日（土）の土曜授業公開では、2・3時間目に体育館において狂言和泉流二十世宗家の和泉元彌さんを講師として「狂言」を学ぶ教室を実施します。この教室は、昨年度から指定を受けている東京都教育委員会「日本の伝統文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」指定校としての取組の一環として実施するもので、オリンピック・パラリンピック教育における「伝統・文化」の分野の取組について、より専門的かつ継続的な活動を実施し、「日本の伝統・文化の良さを理解し、様々な国や地域の方に日本の良さを発信できる生徒」及び「互いの文化を尊重した香料ができる生徒」の育成を図ることを目的としたものです。

専門家の方から直接学ぶ貴重な機会を通して、日本の伝統・文化の良さを知り、理解を深める機会としたいと考えています。講師の和泉元彌さんには、文京区民だということもあり、この趣旨にご賛同いただきご多忙の中にもかかわらず本校にお出でいただけることになりました。当日は、「狂言」の説明・鑑賞に加え、生徒全員または代表生徒によるワークショップも予定しています。この機会を生かし、保護者、地域の皆様もぜひご来校いただき、日本の伝統・文化の良さに直接触れていただければありがたいです。

- 日 時 11月12日（土）9：50～11：30
- 会 場 第九中学校体育館
- 講 師 狂言和泉流二十世宗家 和泉元彌さん
- 内 容 狂言の説明・鑑賞、ワークショップ



九中の特色！「新聞への意見文」投稿 ～2学期掲載分の紹介（その3）～

本校の特色ある教育活動の一環として、今年度も新聞への意見文投稿を勧めています。

10月15日（土）に本校で実施した「東京都教育委員会『夢・未来』プロジェクト／パラリンピアンとの交流・講演会」で感じたことを文章にしたためた1年生の意見文が掲載されましたので紹介します。

※ 産経新聞「ひこばえ倶楽部」 平成28年10月31日（月）掲載

パラリンピアンの底力体感

中学生 田口 凜香（13） 東京都文京区 [1年1組]

車いすテニスでアトランタ、シドニー、アテネ、北京のパラリンピック4大会に出場した大前千代子さんが先日、私が通う中学校で実技披露と講演をしてくださった。

テニス部員の私は、大前さんのラリーの相手をさせていただいたが、そのプレーのすごさに驚いた。車いすというハンディがありながら、びしりと鋭いボールを返す姿に圧倒された。若々しくて、とても60歳とは思えなかった。

大前さんは、車いすテニスを始める前はアーチェリーや陸上競技でも活躍し、パラリンピックで金メダルも獲得されている。講演では「障害者差別をはね返そうと、その一心で頑張り続けた。何事にも前向きに取り組み、それが自信につながり、自信が自分をかえてくれた」とおっしゃっていた。テニス部員には「最初から上手な人はいない」と、努力の大切さを説かれた。私もテニスに限らず、どんなことにも努力を重ねたい。